

## そよかぜ No.14

### ※新型コロナ へんけん さべつ ひぼうちゅうしょう 偏見・差別・誹謗中傷・デマ・うわさ ぜったいにやめて!!

三重県内でも新型コロナウイルスにかかった人が増えています。どの人も不安をかかえて生活しています。ですが、いちばん不安で、体も心もしんどいのは、新型コロナウイルスにかかった人です。

いつでも誰でもかかることがあります。これまでいろいろなときに、いろいろな人が伝えてきたとおり、新型コロナウイルスにかかった人に安心あんしんして休んでもらうには、安心もどして戻ってきてもらうには、まわりの人たちがどのようにかかわるのか、行動こうどうするのが大切です。

個人とくていを特定したり、誰かきずを傷つけたり苦しめたりするような書きこみや発言はつげん、デマやうわさを流すことは、ぜったいにやめてください。

新型コロナウイルス感染症の陽性者数が増えています。以前よりも不安が大きく、身近なことに感じていると思います。どの人も不安で、誰がいつどこでかかるか分からない。そんな状況です。これまでも気をつけてくれていると思いますが、改めて大切なことを確認しておきたいと思います。

#### ①周りの人がどう関わるかが大切です。

感染症はいつでも誰でもかかることがあります。陽性になった人に安心して休んでもらうには、安心して戻ってきてもらうには、周りの人たちがどうかかわるのか、行動するのが大切です。誰でも感染するリスクがあります。陽性になった人も、かかりたくてなったわけではありません。気をつけていても、かかってしまう状況です。

5月に生徒会の子たちがシトラスリボンプロジェクトを広めてくれました。飯野のみなさんと協力し、お互いが安心して過ごせるよう行動していこうと確認しました。今回の感染症は、他人事にはしておけません。いつ自分のことになるか分からないからです。かかった人が、治った後に安心して戻ってこられるよう、態度・行動で示しましょう。

#### ②情報に振り回されずに行動をしましょう。

情報を正しくつかむ、精査する力はこれまで以上に必要です。これまで様々な人が様々な場面で伝えてきましたが、SNSやインターネットの掲示板などに、個人を特定できる書きこみや、うわさ、正しいかどうか分からない情報などを書きこむことは、ぜったいにしないでください。みなさんが分かっているように、たたかう相手は、ウイルスです。陽性になった人を攻撃したり、排除したりすることはぜったいにやめてください。SNSだけではなく、直接その人を避けたり、心ない言葉をぶついたり、うわさを流したりすることもしないでください。これらのことがあっては、安心して休めません。コロナが治ったあとも安心して戻りません。相手の心を傷つけることになるだけでなく、その人が安心して生活する権利、学校で学ぶ権利など、誰もが持っている大切なものを奪うことにもなります。気をつけていて

も、いつ誰が感染したっておかしくない状況です。もし自分がされる側になったら…と想像し、自分の行動がそれで良いのかを確かめてください。

### ③一人ひとりの行動が安心をつくる。

誰もが過ごしやすい地域や学校、職場などをどのように作っていくか、そのためにどう行動していくかが求められています。お医者さんたち、看護師さんたち、保健所の人たち、…たくさんの人たちが頑張ってくれています。みなさんも含め、私たち一人ひとりができることを頑張っています。安心して過ごせる場所を、これからも作っていけるように、守っていけるように、自分のこととして考えて、行動してほしいと思います。繰り返しになりますが、私たち一人ひとりがどう行動するかによって、コロナにかかった人が安心して休み、安心して戻って来られるかが決まります。また、ワクチン接種が済んでいない人への差別、偏見もないようにお願いします。接種は個人の判断ですものですし、事情があって接種できない人もいます。差別や偏見、避けたり攻撃したり、うわさやデマを流すことなどは、ぜったいにないようにお願いします。

飯野高校のみなさんで一緒にこの状況を切り抜きたいと思います。学校の中だけではなく、家庭や地域でも同じように協力してほしいと思います。よろしくお願いします。

日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」2020年3月26日より抜粋 ([https://www.jrc.or.jp/saigai/news/200326\\_006124.html](https://www.jrc.or.jp/saigai/news/200326_006124.html))

ウイルスがもたらす  
第3の“感染症”は  
嫌悪・偏見・差別です

不安や恐れは人間の生き延びようとする  
本能を刺激します。  
そして、ウイルス感染に  
かかわる人や対象を  
日常生活から遠ざけたり、  
差別するなど、  
人と人の信頼関係や  
社会のつながりが  
壊れてしまいます。

第3の“感染症”を  
ふせぐために

不安を煽ることは病気に  
対する偏見や  
差別を強めます。  
・「確かな情報」を  
拡めましょう。  
・差別的な言動に  
同調しないように  
しましょう。

6



Citrus Ribbon  
PROJECT

第3の“感染症”を  
ふせぐために

みなさんそれぞれの場所  
で感染を拡大  
しないように  
頑張っています。

- ・小さな子どものいる家庭
- ・高齢者
- ・治療を受けている人とその家族
- ・自宅待機している人
- ・医療従事者
- ・日常生活を送って社会を支えている人

この事態に対応している  
すべての方々を  
ねぎらい、敬意を  
払いましょう。

17

飯野高校はシトラスリボンプロジェクトに賛同しています。

～We live to be happy by sharing things and feelings.～

「わたしたちは、しあわせになるためにいきている。ものやきもちをわちあって・・・」

